

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-172075(P2005-172075A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-411154(P2003-411154)

【国際特許分類】

F 1 6 H 25/20 (2006.01)

F 1 6 H 25/22 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 25/20 F

F 1 6 H 25/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転要素と、軸線方向移動要素と、前記回転要素と前記軸線方向移動要素との間に配置された転動体とを含み、前記回転要素の回転運動を、前記軸線方向移動要素の軸線方向運動に変換するボールねじ機構において、

前記軸線方向移動要素に螺合する複数のねじ部材と、

前記ねじ部材を案内する案内部と、

前記案内部における前記ねじ部材の当接位置に配置された樹脂材と、を有することを特徴とするボールねじ機構。

【請求項2】

前記樹脂材は低摩擦特性を有することを特徴とする請求項1に記載のボールねじ機構。

【請求項3】

前記回転要素と前記軸線方向移動要素との間に形成されたねじ溝及び前記ねじ部材のねじ部の一方は右ねじであり、他方は左ねじであることを特徴とする請求項1又は2に記載のボールねじ機構。

【請求項4】

前記ねじ部材の一方が前記案内部における前記樹脂材に当接する一方、他方のねじ部材は前記案内部における前記樹脂材に当接することを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のボールねじ機構。